



マルキユーの新製品『フィッシンググローブTR-01』の5本切りタイプ。高いグリップ力、握りやすさ、耐久性をアップさせ、よりタフな使い込みに対応しています。着脱も楽で釣りの動作がとてスムーズにできてオススメです!!
3本切りタイプもあります。



私の愛用するゼクトαやゼクトS・M・Lの各種と最上列は新製品のディスプレイ。使い慣れたウキが変化する状況にも対応しやすいですね



ブラックストリームは私のお気に入りです



甕島・里一帯を案内してくれる蝶栄丸(石原船長)串木野港
090-7925-5130 了解です!!



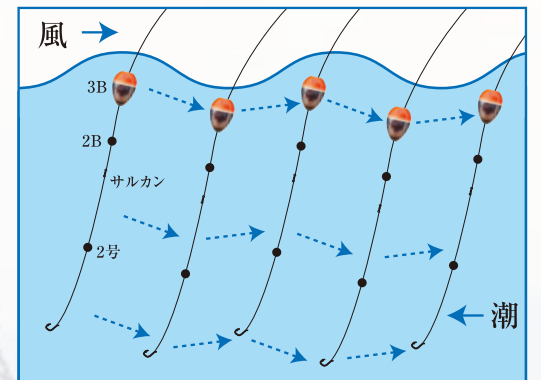
灯台下

射手崎のハナレ



馬の背釣り座

馬の背左側



釣る範囲の広さ、そして②クロが釣れるタナの深さ、さらにどちらも強風ですが③ウネリがあるか無いか等を考慮してのウキ選びをしたつもりです。

まず①釣る範囲の広さは5番の時は、釣り座の正面と左のサラシにマキエサを入れて。0号のウキを沖の上げ潮に引かれる潮に乗せて釣るオーソドックスな釣り方で、手前から沖まで広く食わせられます。一方、今回の馬の背は、下げ潮が釣り座のすぐ左をかすめて通っているため引かれ潮がほぼ直角に入って、その距離は約3から4mぐらいと釣る範囲がせまいため、速く仕掛けをなじませるための3B選びです。

②のタナの深さですが、5番の時は船長の指示の「浅くていいヨ!」

とのことで、0ウキスタートだったのに対し、今回は、マキエサを入れても魚がまったく見えなかったの、タナが深いと判断し、きつちり仕掛けを入れられる3Bをチョイスします。

③のウネリですが、5番の時は強風だがウネリはほとんどナシ。でも、今回は南東からの大きなウネリが朝からあったので、仕掛けがウネリで持ち上がらないように、段シズで対応するための3Bのウキです。

ウキは3Bですが、ガン玉は2Bとジントンの2号を打って、道糸を張り気味で送り込むようにするといいです。ウキの浮力表示よりも重たくするのがコツです。大きなウネリがある時にガン玉やジントンを打たないと、どうしてもウネリに乗って降りてとなると、ハリが張ってゆるんとなり、クロの食いが悪くなるか、食わないかとなるので段シズが効果があります。試してみてください(右図参照)。結果、強風とウネリそしてあまり動かない潮にどの瀬もきびしかったみたいですが、居付きのクロと渡りのクロが半々ぐらいでよく釣れました。

最後に

クロ狙いで、一番に悩むのがウキ選びだと思えます。軽い仕掛けで、ゆつくり落とすのがいい時。重ための仕掛けで速く仕掛けをなじませる。深いタナをさぐる。強風で道糸が引つ張られないように、仕掛けを安定させるための重たい仕掛け等々。いろいろ悩むのがウキ選びだと考えます。

とにかく、釣りをしている「アレ?」「ウーン?」とか思ったら行動して下さい。「もう少し」とか「潮が変わるはず」とか言い訳をしないで、思ったら行動あるのみです。また「寒クロは、数より型を狙え」と言われますが、私は「まずクロを釣れ」釣りに行ける時はほとんど行つて、釣れる時はほとんど釣る。その中で型を狙う。「まずは、クロを釣れ」です。



甕島急流育ちのノッコミグロは元気イッパイ!!よく引きますよ〜



スマ(ガツオ)回避してます。美味しかったです最高ですよ〜

甕島里 射手崎の馬の背(略称)

